

研究課題 (テーマ)		寝たきり療養者用防水シーツの消費性能から見た快適性の探求 ー肌触り、摩擦、圧縮弾性の視点からー	
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	看護学部 看護学科	准教授	川崎 久子
分担者	なし		
研究結果の概要			
<p><b>【研究目的】</b></p> <p>我が国は、超高齢化社会を迎え、要介護者が増加している。要介護者は、寝床上での排泄を余儀なくされているが、布団やマットレスへの汚物の汚染を避けるため、防水シーツを敷いての生活している。これらの防水シーツは、機能を優先に開発されており、快適性については言及されていない。本研究では、療養者の環境改善に向け、市販されている防水シーツの消費性能のうち、肌触り、摩擦、圧縮弾性を測定し防水シーツの使い心地について、検討した。</p> <p><b>【実験試料】</b></p> <p>医療機関向け防水シーツ（基布と防水シートの2枚合わせになっている製品）9種類</p> <p><b>【実験方法】</b></p> <p>試料を室温 20℃、湿度 65%の恒温恒湿室にて1週間保存した後に同条件下にて実施した。表面試験機 KES-FB4-A（カトーテック）を使用し平均摩擦係数とその平均偏差を測定、圧縮試験機 KES-G5（カトーテック）を使用し圧縮弾性を測定、KES-F7 サーモラボを使用し、接触温冷感と保温性を測定した。透湿性については、日本工業規格の透湿試験（カップ法）に準じて観察した。</p> <p><b>【データ分析】</b></p> <p>いずれも3回測定後平均値を算出し、基布の状態および繊維の素材との関連を検討した。</p> <p><b>【結果】</b></p> <p>摩擦係数は、基布が編物か織物かで結果が異なる。滑りやすさは、編地のウェールが最もよく、繊維はナイロンが最もよかった。圧縮弾性も織物より編物が柔らかい結果が出た。接触温冷感や保温性は、基本白布と同様の結果であった。透湿性は、防水加工の素材の相違が影響していた。</p> <p><b>【考察】</b></p> <p>防水機能が重視される防水シーツであるが、動きにくい身体という使用条件を考慮すると、編地（今回の試料ではトリコット編）のたてとよこを使用者の状態に合わせて選択できるようにするとより体位変換や体位保持がしやすくなるのではないかと考えられた。</p>			
今後の展開			
本研究結果を繊維消費系学会に報告するとともに、より快適な寝床環境に向けて、寝衣の消費性能との関連について明らかにしていきたい。			